

平成28年
10月7日〔金〕
〜
12月13日〔火〕



むかしむかし あるところに

——教材としての昔話——

田中
月耕

田中月耕《桃太郎図》(部分)
大正7年 元竹間小学校蔵

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
 休館日：毎週水曜日（祝日の場合は翌平日）
 入館料：大人200円 小・中・高生100円
 団体（20人以上）の場合は大人160円
 小・中・高生80円
 ※市内の小・中学生は土・日曜日入館無料

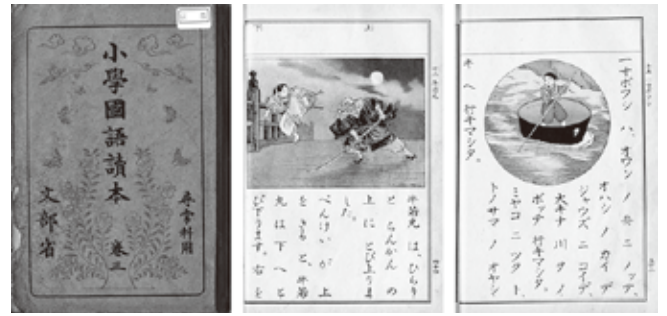
 京都市学校歴史博物館
 Kyoto Municipal Museum of School History

むかむか あるところに — 教材としての昔話 —

桃太郎、舌切すずめ、花さか爺——現代でもよく知られる昔話は明治20年代から教科書や児童書などによく取り上げられています。その多くは画家が手がけた可愛い挿絵と共に紹介され、子どもたちにとって楽しく身近なものとして学ばれました。本展では、京都市の学校が所蔵していた明治から昭和にいたる資料の中から、教科書を初め、昔話を題材にした様々な教材を紹介します。ユニークな教材の数々からは文筆家や挿絵画家の、子どもを楽しませる工夫が感じられます。また、話の内容やそこに込められた教訓を見直せば、当時の教育に対する考え方も垣間見えてくることでしょう。子どもたちは昔話をどのように受容してきたのか。その変遷を振り返ります。



『通俗伊蘇物語 二』明治6年 左：表紙 右：「牧人と家牛の話」挿絵（河鍋晩斎筆）



『尋常科用 小学国語読本 巻三』昭和10年 左：表紙 中：「牛若丸」挿絵 右：「一寸ボワン」挿絵



『末松氏修身入門 生徒用』明治25年 左：表紙 右：「猿蟹合戦」挿絵



『酒呑童子絵巻』江戸時代 元富有小学校蔵



『修身教本 尋常小学校用 巻一』明治34年 左：表紙 右：「松山鏡」挿絵



寿山『舌切雀』



『尋常科用 小学国語読本 巻四』昭和9年 左：表紙 中：「かぐやひめ」挿絵 右：「大江山」挿絵

学芸員による解説講座

●11月27日(日) 14:00~15:30

「明治期絵画の題材としての昔話」

講 師：森光彦（京都市学校歴史博物館学芸員）

会 場：京都市学校歴史博物館3F 講義室

聴講料：無料（別途入館料が必要）

受 付：当館への電話（075-344-1305）

FAX（075-344-1327）、ハガキ

Eメール（rekihaku-jigyuu@edu.city.kyoto.jp）

定 員：60名（申込先着順）

※定員に達しだい受付終了。

※イベント名、代表者氏名、連絡先電話番号、参加人数を明記。

※FAX、Eメールの受付確認は行っておりませんのでご了承ください。

申込期間：10月1日（土）～講演会前日まで

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

阪急…河原町駅	徒歩約10分	10番出口「藤井大丸口」から南西へ
京阪…祇園四条駅	徒歩約15分	3番出口から南西へ
地下鉄…烏丸線四条駅	徒歩約12分	5番出口から東へ
市バス…四條河原町	徒歩約10分	南西へ
市バス…河原町松原	徒歩約5分	北西へ

 **京都市学校歴史博物館**
Kyoto Municipal Museum of School History

〒600-8044 京都市下京区御幸町通仏光寺下る橋町437

TEL.075-344-1305 ※水曜休館

学校歴史博物館

検索

●この印刷物が不要になれば、「雑がみ」として古紙回収へ

